

(2) 市町村アンケート

① 市町村アンケートの目的

海岸保全基本計画に当たって、関係自治体の意向を把握するためにアンケート調査を実施。

② 市町村アンケートの概要

a) アンケート項目

- ・ 中長期計画、将来構想などにおける海岸の位置づけについて
- ・ 現在の取り組み状況について
- ・ 管内の海岸のうち隣接する関係期間が管理する海岸について
- ・ 管内海岸の現状と将来について

b) 調査方法

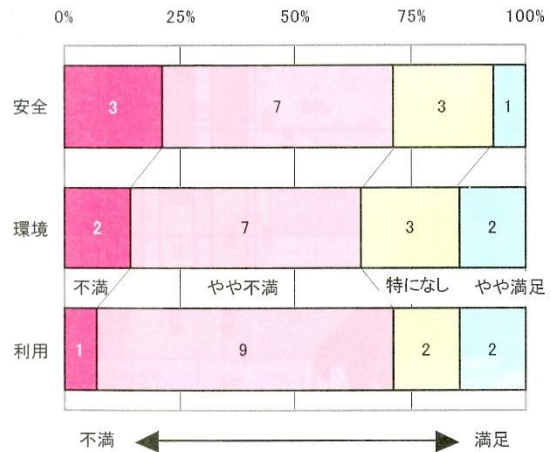
- ・ 調査方法 関係自治体へ直接配布、E-mail・FAXにより回収
- ・ 調査期間 平成12年12月16日～平成13同年1月21日

③ 市町村アンケート調査結果

a) 現状における満足度（安全、環境、利用面）

60%以上の市町村は現状の整備に満足していない。
住民より整備に関する意識が高い。

現状における満足度を安全、環境、利用面から見た場合、「不満である」、「やや不満である」と不満を感じている市町村は60%以上であり、整備に対する意識が高い。一方、「満足している」と回答した市町村は無く、「特に不満はない」、「やや満足している」と満足している市町村は30%程度である。

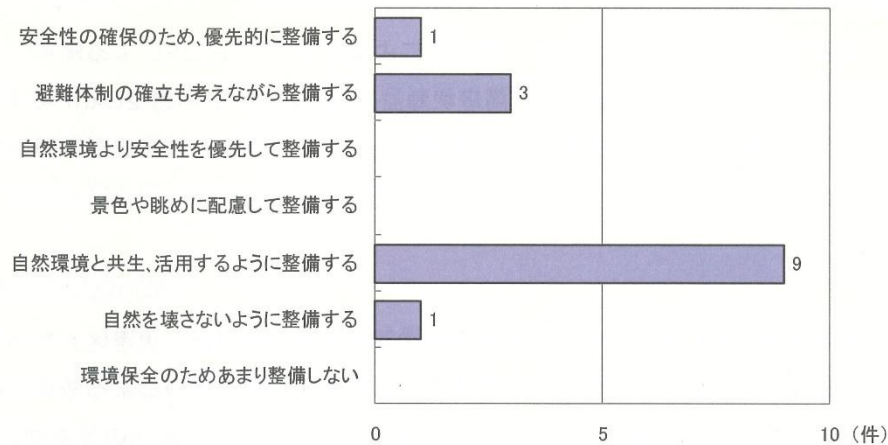


b) 今後の防災施設整備について

今後の防災施設整備にあたっては、自然に配慮した整備を考える自治体が多く、ついで、避難態勢などの安全性を確保した整備を考えている。

今後の防災施設整備にあたっては、「自然環境と共生、活用するように整備する」と自然に配慮した整備を考えている自治体が多い。

次に、「避難体制の確立も考えながら整備する」、「安全性確保のため、優先的に整備する」と防災面からの整備を考えている自治体が多い。



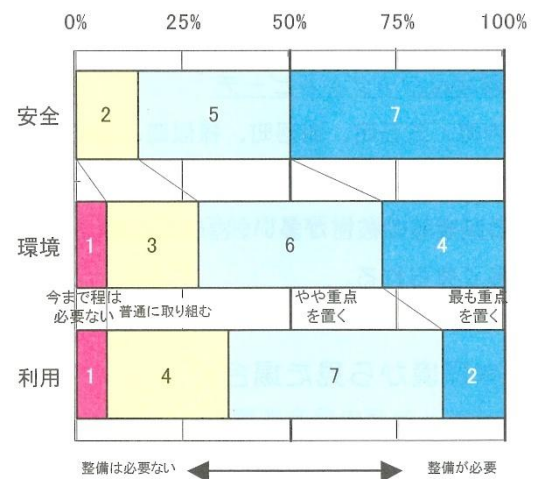
c) 海岸保全に関する今後の取り組みについて（安全、環境、利用面）

90%以上の市町村が、今後の海岸保全の取り組みを必要と考えている。
特に、安全面での取り組みは、重点的に行うべきと考えている。

今後の取り組みについて、安全、環境、利用面から見た場合、「普通に取り組めばよい」の回答を含むと90%以上の市町村が今後も整備が必要と考えている。

「やや重点を置いて取り組むべき」、「最も重点において優先的に取り組むべき」と特に整備が必要と感じている市町村は、安全面で最も多く100%程度であり、環境面、利用面では90%程度である。

すべての市町村において、今後の整備は必要と考えており、住民より取り組みに対する意識が高い。



2.1.8 現況特性のとりまとめ

これまでに示した結果から、日高胆振沿岸の現況特性を「海岸防護」、「海岸環境」、「環境利用」の3つの観点からとりまとめる。

(1) 海岸防護から見た場合

岸沖漂砂

室蘭市、登別市、白老町、苫小牧市は、高波浪による被害や岸沖漂砂による侵食の著しい地域である。これは、主波向の南向系波浪が日高舟状海盆の湾入により、沖合 20km 程度まで海底地形の影響をほとんど受けず、波のエネルギーを保存したまま進行し、高波浪が来襲しやすい地形となっているためである。

港湾施設

苫小牧市から厚真町の沿岸には、国際拠点港湾の苫小牧港（西港区、東港区）があり、北海道の物流拠点を形成している。同沿岸には、高波浪による被害や岸沖漂砂による侵食の著しい地域である。したがって、この沿岸では岸沖漂砂の制御とともに、港湾施設への配慮が必要である。

沿岸漂砂

厚真町、むかわ町、日高町（旧門別町）、新冠町、新ひだか町（旧静内町）は、顕著な岸沖漂砂は少なく、西向き沿岸漂砂が卓越しているため、施設東側に堆積して西側は侵食という汀線変化が良く見られる地域である。

岩礁域及びポケットビーチ

新ひだか町、浦河町、様似町、えりも町は、岩礁の合間に砂浜がある海岸形態であり、顕著な沿岸漂砂や岸沖漂砂の少ない地域である。また、大陸棚の幅が 10km 程度の海岸では高波浪による越波等の被害が多い。岩礁域には、藻場が点在しており、その合間の砂浜にはポケットビーチが多く見られる。

(2) 海岸環境から見た場合

藻場を活用した水産振興、緑地、生物

室蘭市、登別市、白老町の海岸部には藻場が点在しており、良好な漁場が形成され、コンブ等の特産品が地域の暮らしを支えている。また、海岸背後には自然緑地保護地区や鳥獣保護区等の法定区域と設定されており、保護を必要とする動植物がいる。

生態系・海岸景観

登別市、白老町、苫小牧市、厚真町は、侵食の著しい沿岸である。同沿岸には、ヨコスト湿原や浜厚真海岸など、侵食からまもるべき生態系や海岸景観がある。

生態系・干潟等

むかわ町鷓川の河口部干潟は、渡り鳥の飛来地となっており鳥獣保護区にも指定されている。同河口周辺の海域には地場産業であるししゃもが多く生息している。

一方、日高町（旧門別町）の沙流川やその周辺海域にも同類の魚が生息していることが確認されており保全すべき生態系が多い。

牧歌的景観と岩礁域が調和した自然環境

日高町（旧門別町）から新ひだか町（旧静内町）にかけての牧草地は日本有数の競走馬の産地であり、牧歌的な景観を有している。

新ひだか町（旧三石町）、浦河町、様似町は、岩礁の合間に砂域のある、いわゆるポケットビーチを有しており、岩礁域は全国的にも有名な日高コンブの産地となっているほか、鳥獣保護区、河川保護水面、環境緑地保護地区などの法定区域に設定されている。

海岸景観及び自然環境

様似町、えりも町は、海岸段丘と岩礁地帯が隣り合い、優れた景勝地として観光の名所となっているほか、国立公園に指定されている地域もあり、景観と自然環境の保全が必要である。

(3) 海岸利用から見た場合

都市圏からの観光及び交流

室蘭市、登別市、苫小牧市、白老町には、イタンキ浜海水浴場、マリーナ等の海洋性レクリエーション施設や道内を代表する観光地である登別温泉、虎杖浜温泉があり、札幌市、室蘭市、苫小牧市等の都市圏から多くの観光客が訪れている。

港湾施設を中心とした物流

苫小牧市と厚真町には、北海道における貨物の約 6 割を占める国際拠点港湾の苫小牧港（西港区・東港区）があり、北海道の物流の拠点を形成している。

農林水産業近隣都市圏との交流

厚真町、むかわ町、日高町（旧門別町）は、ししゃもをはじめとし鮭や多くの農畜産品の産地となっている。また、苫小牧市等への通勤・通学等が多く、ベッドタウンの機能を有している。

滞在型観光振興及び農林水産業振興

新冠町、新ひだか町、浦河町、様似町、えりも町は、全国的に有名な日高昆布を中心とした漁業があり、競走馬の産地としても知られている。岩礁地帯の一部の地域は国立公園に指定されており、優れた景勝地として観光の名所となっている。北海道総合開発計画においても「豊かな自然環境・競走馬の全国的 PR による観光レクリエーションゾーンを形成」とされており、農林水産業と観光の振興が望まれている。

海洋性エネルギーの有効活用

現在、世界では自然エネルギーの利活用が進められているが、日高・胆振沿岸では、強風地域で潮流も激しい襟裳岬や地球岬を有していることから、今後、洋上風力発電や波力・潮流発電等の海洋再生エネルギー発電の導入ポテンシャルを持った沿岸地域である。

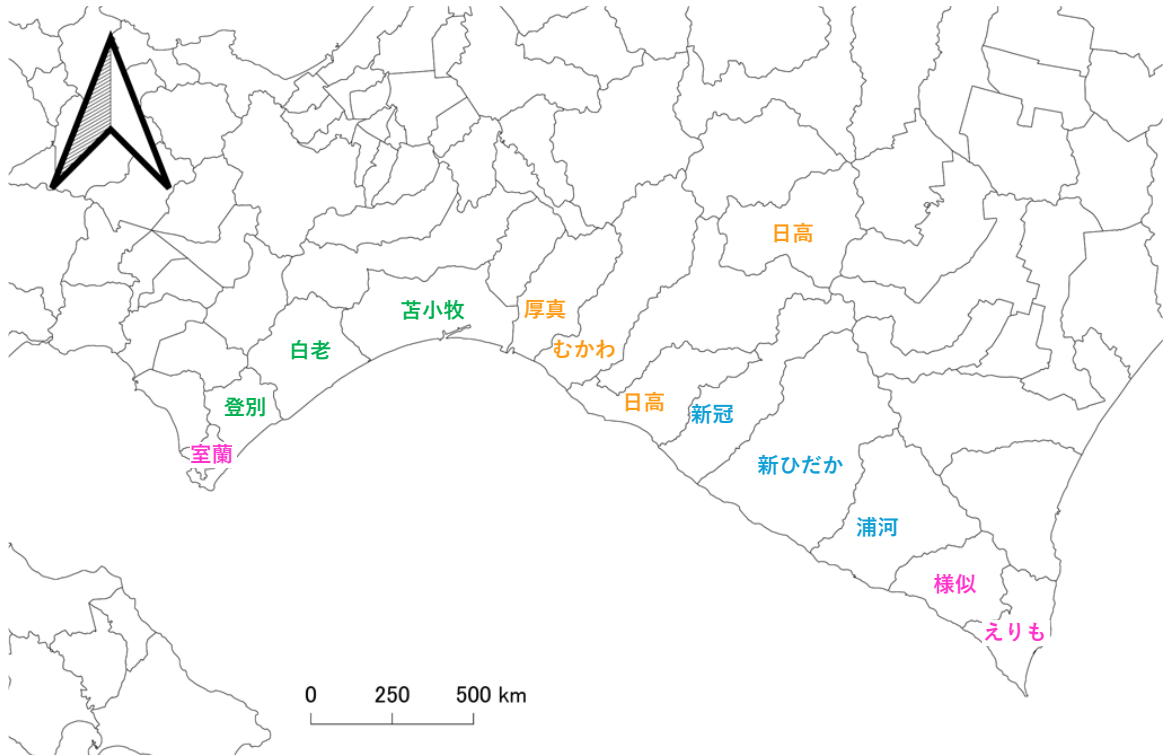
室蘭港への洋上風力発電の産業誘致を目指す組織として、「室蘭洋上風力発電事業推進協議会」が発足したほか、室蘭市では室蘭港の将来的な水素産業拠点化の推進に向けた取組を行っている。



写真- 19 室蘭市の風力発電

(4) 現況特性からみたゾーニング

前章で得られた日高胆振沿岸の「海岸防護」、「海岸環境」、「海岸利用」に関する現況特性から、沿岸を下図のようにゾーン区分する。



～えりも町、様似町、室蘭市～
段丘と岩礁の優れた景観と、
多様な生態系に配慮した海岸づくりゾーン

～浦河町、新ひだか町、新冠町～
牧歌的景観を活かし、コンブ漁業などの
地場産業を支える岩礁域に配慮した海岸づくりゾーン

～日高町、むかわ町、厚真町～
渡り鳥の飛来地である干潟や多様な生態系を守るとともに、
侵食防止を図る海岸づくりゾーン

～苦小牧市、白老町、登別市～
住民の生活を守るとともに、
憩いの場としての砂浜を創出する海岸づくりゾーン